

インバウンド購買意欲指数(2023年第2四半期)の結果について

～水際対策終了により、購買意欲は調査開始以降最高水準に～

株式会社インジェスター(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:呉 希昌)と、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:村林 聡)は、全国の小売店を訪れる訪日外国人観光客の購買意欲について測定する指数「インバウンド購買意欲指数」の2023年第2四半期の結果を、下記の通りまとめました。

今回は測定を開始した2019年第4四半期以降の指数の推移をレビューし、長らく続いた新型コロナウイルス感染症流行下における訪日外国人観光客の購買意欲の変化について、時系列で整理しました。

◆ 2023年第2四半期の動向について

- 現状水準DIは、前四半期(参考値)¹差で+7ポイントの76と上昇した。
- 現状判断DIは、前四半期(参考値)差で+4ポイントの74とやや上昇した。
- 先行き判断DIは、前四半期(参考値)差で+4ポイントの80とやや上昇した。

◆ インバウンド購買意欲指数について

- 訪日外国人観光客によって生じる購買の動向を的確かつ迅速に把握し、関係分野における経営判断、景気判断等の参考資料とすることを目的として開発された指数です。
- 調査は毎月2回、月中と月末時点としており、アンケート回収期間はその後の1週間としています。
- 株式会社インジェスターが全国の小売店に派遣している販売員を調査対象とし、各店舗で取り扱われている全ての商品を調査対象品目としています。訪日外国人観光客による購買意欲の動向を敏感に察知できるよう、店頭で訪日外国人の接客を担当する者を調査客体としています。
- 主な調査事項は下記の3項目です。
 - ◇ 訪日外国人観光客による購買意欲の水準に対する現状判断(水準)
 - ◇ 前月と比較した訪日外国人観光客による購買意欲の方向性に対する現状判断(方向性)とその理由
 - ◇ 訪日外国人観光客による購買意欲の先行きに対する先行き判断(方向性)とその理由
- 調査客体から収集した判断内容を下表のとおり点数化し、その平均値を最低0点から最大100点となる指数(Diffusion Index、DI)として示しています。そのため、この指数では50より大きいほど「購買意欲が強い」、小さいほど「購買意欲が弱い」と判断されていることになります。

評価	現状水準	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い
	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

¹ 本指数では、平均回答者数が50を下回る期間に対応した算出値は、参考値としている。

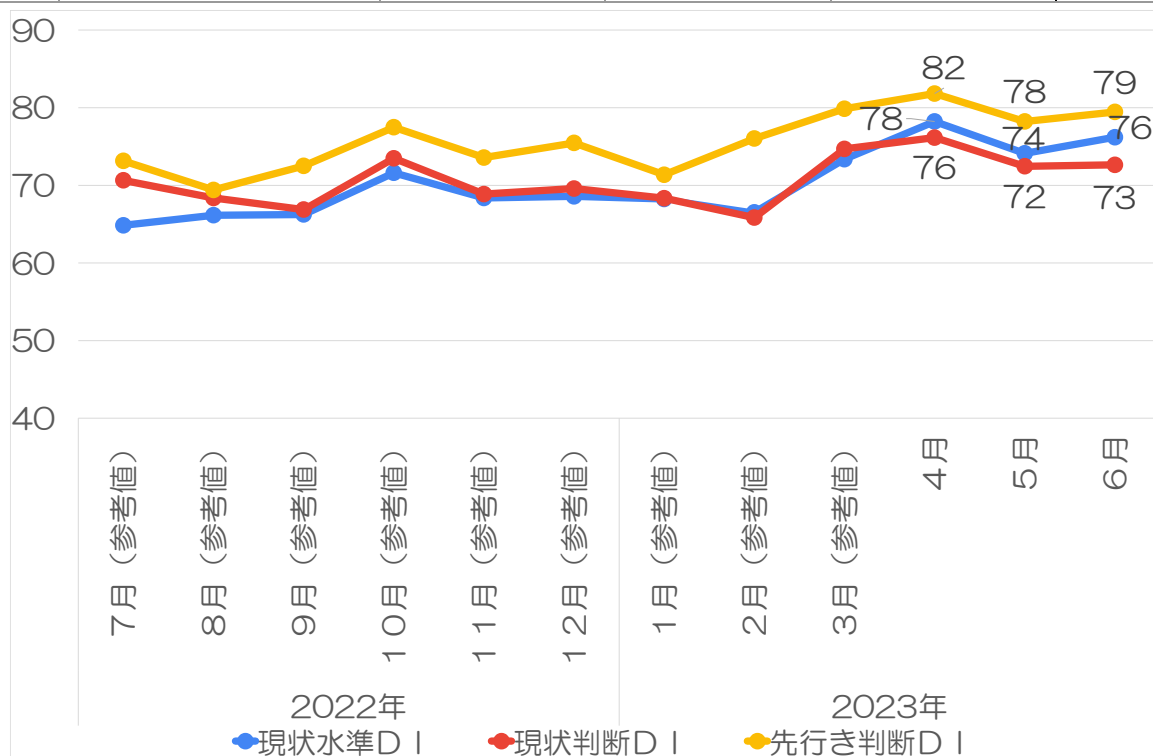
○インバウンド購買意欲指数値

<四半期系列>²

		現状水準D I	現状判断D I	先行き判断D I	平均回答者数
2022年	第3四半期(参考値)	66	69	72	21
	第4四半期(参考値)	70	71	76	26
2023年	第1四半期(参考値)	69	70	76	32
	第2四半期	76	74	80	75

<月次系列>³

		現状水準D I	現状判断D I	先行き判断D I	平均回答者数
2022年	7月(参考値)	65	71	73	20
	8月(参考値)	66	68	69	22
	9月(参考値)	66	67	73	20
	10月(参考値)	72	73	77	26
	11月(参考値)	68	69	74	27
	12月(参考値)	69	70	75	25
2023年	1月(参考値)	68	68	71	19
	2月(参考値)	67	66	76	37
	3月(参考値)	73	75	80	41
	4月	78	76	82	66
	5月	74	72	78	74
	6月	76	73	79	84



² 四半期系列は、月次系列(四捨五入前)の単純平均を、四捨五入して整数値にしたものである。

³ 月次系列は、原系列の単純平均を、四捨五入して整数値にしたものである。

◆ コロナ禍における指数の推移について

期中のほとんどが参考値扱いの集計でありながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、水際対策の強化・緩和等が指数の動きに表れています。

➤ WHOによるパンデミック宣言により指数は急降下

2019年12月以降は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、指数は3系列とも落ち込みました。2020年3月には現状水準DIが15、先行き判断DIが24と、それぞれ調査開始以降最低値となり、2020年4月には現状水準DIが最低値(13)を更新しました。

➤ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開幕に向け指数は一時的に回復

入国制限や制限解除により指数は上下を繰り返し、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開幕した2021年7月には、指数は3系列とも50以上となりました。

➤ オミクロン株の感染拡大により指数は数か月にわたり落ち込むが、段階的な受け入れ再開により回復基調

2021年末のオミクロン株の感染拡大時は、再び水際対策が強化され、指数は数か月にわたって落ち込みましたが、2022年以降は段階的な外国人観光客受け入れ再開により、指数は上昇基調で推移し、2023年4月の水際対策終了時においては、3系列とも調査開始以降最高値となりました。

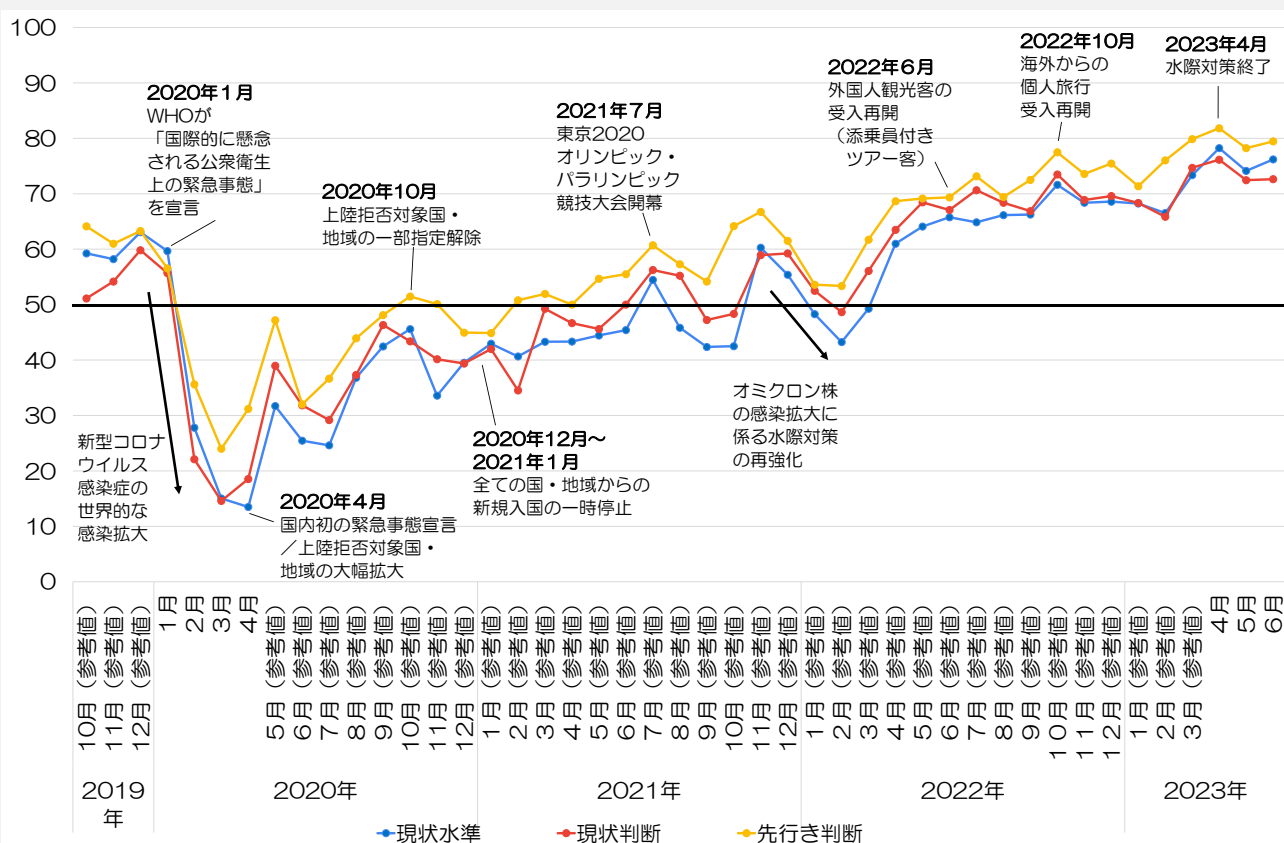
➤ 先行き判断DIは期待感から現状判断DIを上回って推移

2020年2月以降は、ほぼすべての時点で先行き判断DIが現状判断DIを上回っています。長引くコロナ禍で、購買意欲が「今より悪くなることはないだろう」という意識が働き、その期待感が数値に表れていたとみられます。

➤ 中国人観光客は回復途上、今後の動向に注目

2023年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、「新型インフルエンザ等感染症」ではなくなり、我が国としての水際対策も終了しています。しかしながら、感染症拡大前にインバウンド消費をけん引していた中国人観光客は、中国政府が日本への団体旅行を禁止していることに伴い、まだその数が以前の水準には回復していないなど、引き続き変動要因があり、今後の動向を注視する必要があります。

インバウンド購買意欲指数の推移



各指数の原系列、四半期系列と月次系列の四捨五入前の値、各系列の地域別(関東、関西)、使用言語(英語、中国語)別、商品区分⁴別の値や、それぞれの方向性判断における回答者のコメントについては、個別に販売予定としておりますので、文末のお問い合わせ先までご連絡ください。

◆各組織の概要

■ 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社(MURC)

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社は、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(MUFG)のシンクタンク・コンサルティングファームです。東京・名古屋・大阪を拠点に、国や地方自治体の政策に関する調査研究・提言、民間企業向け各種コンサルティング、経営情報サービスの提供、企業人材の育成支援、マクロ経済に関する調査研究・提言など、幅広い事業を展開しています。

(Web サイト) <https://www.murc.jp/>

■ 株式会社インジェスター

株式会社インジェスターは、世界、特にアジア地域でのビジネスシーンにおける「言葉」の壁を取り払い、情報を「正確に、早く、確実に」伝える事によって、お客様のビジネスの成功を強力にサポートしています。近年では、成田空港、羽田空港、関西空港など主要国際空港で訪日外国人向けのセールスプロモーションや各種リサーチを運営。そして、官公庁・地方自治体向けに、外国人向けコールセンター、通訳者派遣、外国語研修や資料翻訳など、クライアントニーズに合わせた幅広いサービスを展開いたしております。

(Web サイト) <https://www.injestar.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社インジェスター

マーケティング室／李英門(リ・ヨンムン)、李敏堅(リ・ビンケン)

〒102-0076 東京都千代田区五番町5-5 ヒューリック五番町ビル 4 階

TEL:03-6261-3905 E-mail:info@injestar.co.jp

⁴ 商品区分は 10 区分+その他である。区分の詳細はお問い合わせいただきたい。